

事業企画書

団体名	戦後70年記念プロジェクト実行委員会		
事業名	ふるさと・相馬、戦後70年記念プロジェクト ※ 新規 ・ 継続 (同じ事業での申請 1 回目)		
事業実施 予定の期間	平成 27 年 7 月 1 日 ~ 平成 27 年 8 月 31 日		
事業実施 予定の場所	○長慶天皇御陵墓参考地一帯	参加予定 の人数	1,000人 (うち構成員数6人)
	○相馬川		

○今回申請する事業についてお書きください。

<p>この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。</p> <p>【審査の視点： 必要性】</p>	<p>(きっかけ)</p> <p>戦後70年を迎え最近、戦後70年の話題がマスコミ等で取り上げられていることが多く、地域でも何かできることがないかと考え、苦難と厳しさを生きてきた方々の想いを感じることに、亡くなられた方々への慰霊をしたい。また、子どもたちへその昭和の時代を伝えなければならないことを痛感。</p> <p>(目的)</p> <p>森（長慶天皇御陵墓参考地）と清流の川（相馬川）を活かした、戦後70年記念を忘れることなく昭和の時代とその歴史を後世に伝える。</p> <p>○戦後70年をきっかけに、当時の世代には思い出してもらおうことと、子どもたちには知ってもらいたい。</p> <p>○地域にある財産を利活用し広く市民に知ってもらい、多くの市民が訪れるようにしたい。</p>
<p>この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。</p> <p>【審査の視点： 公益性、実現性】</p>	<p>(対象となる人)</p> <p>相馬地域の住民をはじめ、弘前市民。 相馬地域はもとより広報等を活用し地域内外に広く宣伝し、集客効果を上げたい。</p> <p>(内容・方法)</p> <p>○案山子コンクール「昭和の思い出」 ○童謡・唱歌コンクール ○読み聞かせ「あの日・あの時・あれから70年」 ○ほたる舞う長慶の杜「慰霊の灯り」 ○灯籠流し「70年の慰霊」</p> <p>※継続申請の場合、記入してください。 (新たな内容や改善点など、前回との違い)</p>

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
5月 1日	組織の結成	公民館	18:00~20:00	6人
5月30日	開催日までの具体的実施内容 検討 ・役割 ・周知宣伝 ・会場整理等	公民館	18:00~20:00	20人
6月 6日	全体会議 町会・子供会・婦人会等	公民館	18:00~20:00	30人
7月10日	環境美化活動	会場周辺	5:00~7:00	119人
7月25日	役員会	公民館	18:00~20:00	6人
8月 5日~ 9日	製作活動	会場周辺	終日	—
8月10日~ 15日	開催日	会場周辺	終日	—
8月16日	後片付け	会場周辺	終日	—
8月22日	反省会議	公民館	18:00~20:00	30人

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<p>戦後70年記念プロジェクトとして、相馬地域の連帯感、協働活動が図られる</p> <p>○昭和の風情を活かした案山子で、当時の思い出と和やかな雰囲気癒されることによってお盆のひとつきを過ごしてもらおう。</p> <p>○童謡・唱歌によって子供から大人の方まで、70年と併せて「ふるさと」を感じ取ってもらおう。</p> <p>○読み聞かせは当時を振り返る感動と苦難を合わせ持つ内容を検討し、多くの方々に戦後の道ゆきを思い出していただきたい。特に子どもたちには、今の平和は昔の苦勞があったことを見て感じてもらい、これからも一生懸命がんばることが大切だということ的印象づける。</p> <p>○戦後70年を慰霊の灯火にし、森ではろうそくで灯す慰霊の灯りと、川では灯笼流しによって感じ取ってもらおう。</p> <p>○この地域を自然環境豊かで、史跡や憩いの森や川として市民に足を運んでいただけるように今後も取り組み、効果を上げたい。</p>
--	--

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>この事業を契機に今後も協働、連帯意識をもって地域の活動を活性化させていきたい。</p> <p>史跡や憩いの森的存在の長慶天皇御陵墓参考地を地域住民で整備して行き、広く市民に親しまれる森に努めたい。さらに80年、90年記念と継続し歴史を伝えていく。</p> <p>そして、今後も子どもから多くの市民の方々が訪れる地域にしていきたい。</p>
--	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

<p>来年度以降も、補助金申請を要望しますか。</p>	<p>(要望する ・ <u>要望しない</u>)</p> <p>↳ いつまでをお考えですか。平成()年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
-----------------------------	---

○他の補助制度の活用についてお書きください。

<p>今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。</p>	<p>(<u>無</u>) ・ 有 (補助制度の名称：)</p>
--	-----------------------------------

○保険についてお書きください。

<p>事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。</p>	<p>加入しない ・ <u>加入する</u> (保険の名称：JAのイベント共済)</p>
-------------------------------	--

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書

【審査の視点：費用の妥当性】

1. 収入

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
市民参加型まちづくり1% システム支援補助金	300,000	300,000		
参加費				
協賛金				
団体会費	50,000			
収入合計	350,000		※支出の合計と同額	

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
講師等謝礼	30,000	30,000		
交通費				
消耗品費及び原材料費	145,000	145,000		
食糧費	30,000	30,000		
燃料費				
印刷製本費	15,000	15,000		
通信運搬費				
保険料	10,000	10,000		
使用料及び賃借料	90,000	90,000		
その他経費	30,000	30,000		
支出合計	350,000	350,000		

※継続申請の場合は、昨年度の交付確定額を記入してください。

補助金の額の算定根拠	<p>① (補助対象経費) × (補助率0.9) ÷ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 350,000 × 0.9 ÷ 315,000</p> <p>② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ÷ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 350,000 - 50,000 = 300,000 ※団体が事業のための予算があるので、補助金額を30万円で申請し、差額を団体が負担。</p> <p>① ②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>300,000</u> 円 (原則50万円を限度)</p>
------------	---

3 支出内訳書

(NO. 1)
(単位: 円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
講師等謝礼	読み聞かせ			30,000	30,000	
交通費						
消耗品費及び 原材料費	慰霊の灯りろうそく	200	100	20,000	20,000	
	灯籠製作材料費	100	300	30,000	30,000	大きさを統一 するため
	舞台制作材料	一式		50,000	50,000	
	会場案内看板	5	5,000	25,000	25,000	
	案山子制作看板	20	1,000	20,000	20,000	
食糧費	イベント準備時飲料	300	100	30,000	30,000	祭り舞台作り 等
燃料費						
印刷製本費	宣伝チラシ	1,500	10	15,000	15,000	
通信運搬費						
保険料	JA イベント共済			10,000	10,000	
使用料及び 賃借料	公民館等使用料	15	2,000	30,000	30,000	公民館 2 箇所 トイレ
	音響設備	一式		45,000	45,000	
	車借り上げ料	3	5,000	15,000	15,000	材料等運搬

(NO.2)
(単位：円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
その他経費	表彰・賞品			30,000	30,000	案山子コンク ール他
合計				350,000	350,000	

- 備考
- 1 太枠内は記入しないでください。
 - 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
 - 3 用紙が不足するときは、別紙を添付してください。